

▼ザイアジェン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 アバカビル硫酸塩 (U) abacavir sulfate (ABC) 【分類】 抗 HIV 薬 [NRTI・ヌクレオシド系]

【単位】 ▼300mg/日

【常用量】 600mg/日

【用法】 1日2回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (12, HIV 感染患者透析医療ガイドライン 2010, サンフォード感染症治療ガイド, Izzedine H, et al: Nephron 89: 62-7, 2001 PMID: 11528234)

【PD】 減量の必要なし (12)

【CRRT】 減量の必要なし (12)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1,12,抗 HIV 治療ガイドライン, サンフォード感染症治療ガイド, Izzedine H, et al: Nephron 89: 62-7, 2001 PMID: 11528234)

【特徴】 ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤で、腎機能障害時の用量調節が不要。

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー, SJS・TEN, 過敏症, 皮膚障害, 呼吸困難, 頭痛, 感覚異常, 腎不全, 筋肉痛, 体脂肪の再分布/蓄積など

【吸収】 食事の影響を受けない (U)

【F】 83% (1,U)

【tmax】 1~1.5hr (1)

【代謝】 アルコール脱水素酵素で 5' カルボン酸体になり、UGT により 5' 位がグルクロン酸抱合される (U) 代謝物に活性はなく、代謝に CYP は関連しない (1,U)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 2%未満 (12) 尿中には未変化体として 1.2%, 5' カルボン酸体として 30%, 5' グルクロン酸抱合体として 36%, 他の代謝物として 15% が排泄される (U)

【CL】 $0.8 \pm 0.24 \text{ L/hr/kg}$ (U) 13.4 mL/min/kg [po] (1)

【t1/2】 $1.54 \pm 0.63 \text{ hr}$ (U) 1.5hr, ESRD で 2hr (12) 1.4hr (1)

【蛋白結合率】 50% (1,12,U)

【Vd】 $0.86 \pm 0.15 \text{ L/kg}$ (1,12,U) CSF 中へは血漿の 27~33%移行 (U)

【MW】 670.74

【透析性】 検討されていない (U) ダイアリザンス $60 \sim 80 \text{ mL/min}$ の透析器により 4hrHD で除去率 24% (1, Izzedine H, et al: Nephron 89: 62-7, 2001 PMID: 11528234)

【O/W 係数】 $\text{LogP} = 1.20$ [1-オクタノール水系, pH7.1~7.3] (1)

【相互作用】 アルコールデヒドロゲナーゼの代謝基質としてアルコールと競合 (1) メサドンの全身クリアランスが 22%増加 (1)

【更新日】 20220326

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。